

単位数	3	学科（型） 学年	建設工学科(建築型) 2年	教科書 副教材等	建築設計製図（実教出版）
学習目標		建築設計製図は、建築計画・建築構造・建築構造設計・建築施工・建築法規など各科目の基礎知識が必要な科目であることを理解し、建築に関する基礎知識を、総合的にまとめる能力を身に付ける。 一定の規則・記号に従い、正確ではっきりと合理的に表され、誰が見ても同じように理解され、設計者が意図するとおりの建築物が施工される図面製作を目指す。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	木造2階建製図模写			○木造2階建製図例の模写をして、新しい製図器の操作を理解するとともに、図面記号の復習をする。 ・1年次に学んだ平家建専用住宅を発展させ、木造2階建専用住宅の基礎知識を学ぶ。 ○階段の種類と表示を理解し、勾配と平面上の位置を確認する。 ○立面図における外壁位置と屋根のかけ方を学ぶ。	
2	自由設計 「店舗付き専用住宅」			○住宅としての機能と店舗としての発想を大切にして、木造建築の製図法を確認し、総合的にまとめる能力を身に付ける。 ○店舗付き専用住宅の計画に必要な知識を、本やインターネット等を利用して収集できるようにする。 ○プランニング用紙を活用して、表現方法を学ぶ。 ○CADによる表現力を身に付ける。	
3	透視図・模型の製作			○製図した店舗付き専用住宅を立体的に表現するため、CADによる展開図のかき方や、模型での外観仕上げの表現力を身に付ける。 ○他者の図面や模型等を観察し、的確に評価できる能力を身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・学習や製図、自由設計を通して、製図の基本的な概念や各設計図相互の関連を総合的に理解し、作図手順などの知識を身に付け、設計図書に関する基礎的・基本的な知識を習得し、創造的で美しく正確な設計製図を作成する。			
思考・判断・表現		・設計図書作成において、基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫する製図の表現技法を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・設計図書に興味を持ち、建築設計製図の意義や役割を理解し、主体的に学習に取り組み、建築技術者としての心構えや態度を身に付けている。			
評価方法	学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、授業中の学習意欲や学習態度、製図が期限内に提出されているかなどを評価します。 製図課題ごとに、製図内容の正確さや表現の美しさを評価します。 自由設計では、資料収集やプランニング演習も設計を行うための大切な学習です。作成した設計製図内容と合わせて評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 各種の競技設計に積極的に参加することで、設計能力や技術の向上に努めましょう。 ○ 授業の時間以外にも放課後や家庭学習等、課題に対する意欲的な取組が技術力や表現力を向上させます。 ○ 身近にある建築物に関心を持ち、常に観察・研究することが、よりよい建築物の構想につながります。 ○ 課題の提出は、締め切り期限を守りましょう。					